

古の佇まいの面影を残す精華古道を歩く

スタート地点 近鉄狛田駅

若王寺 鞍岡神社 瓜生田の遺跡

(川西観光苺園) 武内神社 観音堂跡・旧道 観音寺 近鉄祝園駅



若王寺



鞍岡神社



瓜生田の遺跡



川西観光苺園



武内神社

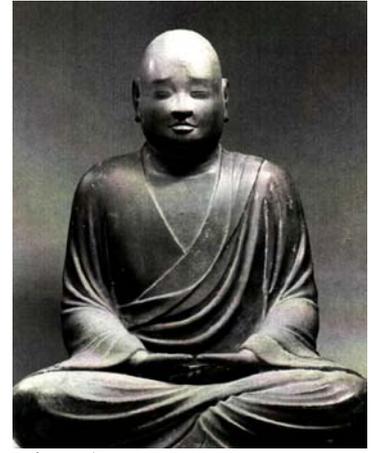


観音寺

1.若王寺



阿弥陀如来像
(精華町指定文化財)



智証大師坐像
(国の重要文化財)

所在地 相楽郡精華町下狛林前9

あんこうざん にかくおうじ
鞍岡 若王寺

概略

宗派； 浄土宗西山禅林寺派（総本山は、京都市左京区禅林寺永観堂の名で知られています）

宗祖； 法然上人

ご本尊； 阿弥陀如来
ちしよ
智証大師坐像

住職； だんじよ ころゆう
壇上 幸裕

由来

寺伝によれば、聖武天皇(724～749)の時代、行基菩薩の出世にあい、念仏道場として草庵を建立し、仏法を広められたのがこの寺の始まりと伝えられています。文徳天皇(850～857)のころ、武士の怨霊のたたりとしてこの地に疫病流行し、横死するもの数多く、天皇日夜これを憂えられ、時の名僧、三井寺の貫守、智証大師に勅令あり、「疫病降伏の御修法を修行せよ」と大師、詔を奉じて若一王子を勧請し御修法を一心不乱に修行すれば、天下人民の病悉く平癒せりと。之に依り天皇、真にお喜びになり、この地に七堂伽藍を建立し、三井寺別院とされました。

謀らずも平重衝の兵変に遭い、東大寺焼失とともに悉く焼失いたしました。

再来百年余、野原同然であったのですが、鎌倉末期より人が住みつくようになり、京都禅林寺の念空上人がこの地に来りて、寺の由緒を知り草庵を建て念仏道場と致しました。これが、禅林寺末寺の始め、再来伝と相承して今日に至っています。

2. 鞍岡神社

由緒； 社伝によると寛弘5年(1008)、8月25日に京都北野社から勧請したと伝えられています。本殿は 明和5年(1765)に焼失したため、安永2年(1773)8月8日に再建されたもので、木造檜皮葺 春日造様式であります。



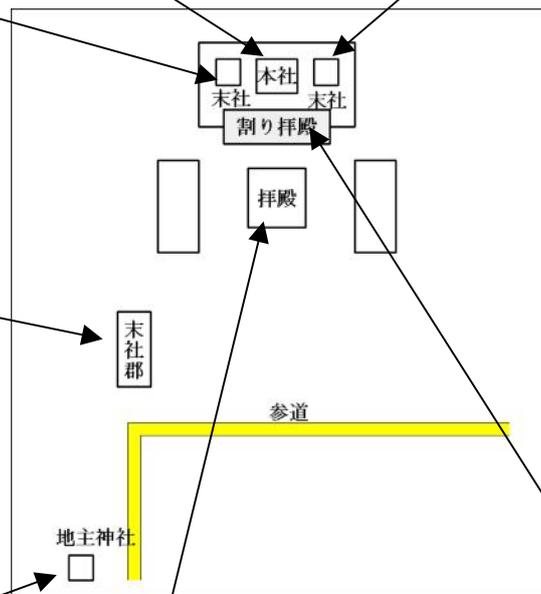
末社(左・狭夜姫神社 右・西宮神社)
本社左側

御祭神 本社 菅原道真

末社(左・老松神社 右・白太夫神社)
本社右側



末社(左から祈雨神社・山神社・稻荷神社
大国主神社・風神社・道祖神社)



末社(地主神社)



拜殿



割り拝殿

うりうでん

3. 瓜生田の遺跡

瓜生田の碑

平安時代のころに謡われた「^{さいばら}催馬楽」(古代歌謡のひとつ。7世紀から8世紀代に民間の間で謡われた風俗歌を、平安時代初期に、雅楽の曲調に編曲したもの)の中に、

山城の 狼のわたりの 瓜つくり な なよや らいしなや さいしなや 瓜つくり 瓜つくり
はれ

(山城国の狼というところの瓜作り人、<はやし詞> 瓜作り人、瓜作り人、<はやし詞>)

瓜つくり 我を欲しといみ いかにせむ な なよや らいしなや さいしなや いかにせむ
いかにせむ はれ

(瓜作り人が、私と結婚したいという、どうしよう、<はやし詞> どうしよう、どうしよう、<はやし詞>)

いかにせむ なりやしなまし 瓜たつまでに や らいしなや さいしなや 瓜たつまでに
瓜たつまでに

(どうしよう、きっと結婚の話はうまくまとまるかもしれない、瓜が熟するまでに、<はやし詞>
> 瓜が熟するまでに、瓜が熟するまでに <はやし詞>)

という歌があり、精華町下狼や山城町上狼などの「狼」の地で瓜が作られていたことを示す資料と見られています。

「瓜生田の遺跡」の碑は、その「瓜生田」が、谷地区の辺りにあったという伝承を後世に残すために、明治39年4月30日、里の岩井武俊氏(故人。当時、大阪毎日新聞社京都支局長)が鞍岡神社宮座の方々と相談して、建立されたものです。碑文は、東京帝国大学史料編纂宮の藤田明先生に書いていただいたものを刻んだものです。傍らには先生の

「やま城の狼の瓜生田昔よ里 ^{だれかため} 誰可為とてか作りそめけむ」という歌が併せ刻まれています。



碑は当初、谷集会所の東方、約20mの水田の畦畔に建てられていましたが、崩壊の危険が生じたので、1980年頃現在の位置の谷集会所の庭に移されました。

4.いちご狩り(川西いちご園 ・ 華やぎ農園)

(予約が必要です)

5.武内神社

- ・ 養老2年(718)稲峰間光延(連)がこの地に城を築き、この地区近郊を支配したと言う伝説があり、又夢のお告げによって領土が安らかに始まり、五穀が豊に実るようと、日頃尊崇する男山八幡宮の様式に習い、武内宿禰を祭ったことに起源すると伝えられています。その年は大変な豊作で、その喜びを初貢としてお供えをし、村中の家や蔵も米で満ちたと言われています。
- ・ 武内宿禰は大臣として行政に携われ、また宮廷において、常に天皇の御側近として補佐され、皇太子の御伝育等あらゆる面において、国政全般を司られました。武内宿禰は二百余歳の長寿であったと言い伝えられています。このことから武内神社は「長生の神様」と呼ばれています。
- ・ 寛文4年(1664)現在の建物(本殿)再建されたことが棟札によって証明されています。
- ・ 昭和58年(1983)本殿と21枚の棟札のうち16枚が府登録有形文化財となっています。
- ・ 昭和58年(1983)鎮守の森(本殿の西側)府決定文化財環境保全地区に指定されています。



6. 観音寺



由緒等

- 延宝四年(1678)時の僧侶の托鉢により建立されたと伝えられており、ご本尊、十一面観音立像は精華町指定文化財に指定されています
- 旧岡本寺は廃寺となり、本尊 聖観音菩薩立像が残されています。
- 現観音寺は旧岡本寺の仏像など混在しています。
- 弘法大師、不動明王、鬼子母神、大日如来、如意輪観音、千手観音等が祀られています。



十一面観音立像



旧観音寺

現在の観音寺本堂



2008/3/21

31-03-2008 11:03

エチケットを守りましょう！

- ◎ 交通ルールの遵守。
- ◎ ゴミは捨てずに持ち帰る。
- ◎ 通り道の草花は絶対に摘み取らない。
- ◎ トイレ等へ行ったり、途中で帰る場合は必ず引率者へ連絡する。